



## 「非認知力」を高める社会教育の推進を

石川県公民館連合会会長 関戸正彦

石川県社会教育協会 70 周年おめでとうございます。社会教育の一端を担っています石川県公民館連合会としてお祝いと連帯のメッセージを送らせて頂きます。

私達公民館は、人が集う館として様々な活動を展開していますが、少子高齢化の進展に伴い様々な課題に直面しています。その解決策として地方創生が花盛りであり、政府・行政あげて叫ばれていますが、具体的な対策や対応の話をあまり聞くことができません。つまりそれほど難しい課題なのですが、地域ではあまり真剣に考えていないように感じられるのは私一人ではないと思っています。

皆さんの公民館は、生涯学習の拠点であると共に、社会教育施設として社会教育を大切にしています。それはなによりも公民館の原点でもあります「ひと・まち・しごと」を考えて実践しているからです。「つどい・まなび・むすびあう」ことから、人づくり・地域づくり・まちづくりを使命としています社会教育を重要視しているからです。

つまり、公民館は地域を一番知っており、公民館が進めています社会教育こそが、町づくり、地域の絆、コミュニティーの活性化そのものであり、地方いや地域創生の出発点なのだと思います。学校教育では、テストで図れる学力「認知力」を大切にしていますが、今、地域では、「非認知力」の重要性が叫ばれ求められています。まじめさ・粘り強さ・自制心・忍耐力・気概など、行動に影響を与える人の性格資質をいかに高めていくかが大切であり、社会教育や生涯学習が果たしていかなければならないことだと考えています。

石川県社会教育協会 70 周年の節目にあたり、皆さんと一緒に考え行動していきたいものです。